



▲当時の様子を語る地域先生とその実体験に耳を傾ける児童たち

## 水害の恐ろしさを知ってほしい

### ～第1回名森っ子塾開校～

9月29日(火)名森小学校で、第1回名森っ子塾が行われました。これは地域とのかかわりを授業の一環として行う取り組みのひとつです。

地域先生として10人の町民の方を招いて、5・6年生の児童たちが39年前の9.12災害について学びました。核家族化が進み、家庭では水害について話し合う機会も減ってきた今、川に囲まれた安八町で水について知っておくことはとても大切だということで、このテーマが選ばれました。

当時の写真や、実際に水害を体験された地域先生の話に児童たちはとても興味深く耳を傾けていました。

## 地域交流と世代交流

### ～中組ふれあいフェスティバル2015withふれあい屋台村～

10月11日(日)結地区中組で、ふれあいフェスティバル2015withふれあい屋台村が開催されました。毎年この時期に行われている子どもたちのみこし担ぎに併せて、地域交流そして世代交流をすることを目的に手作りの屋台村が設置されました。

子どもたちがみこしを担いで地区の各家庭に福を届けた後、天満神社前の屋台では、かき氷ややきそばなどの無料配布、イベントブースではボールすくいやボール当てゲームが行われました。また3世代以上で訪れた世帯にはプレゼントが贈られました。



▲屋台村を楽しむ地域のみなさん

## 神甲米(古代米)を収穫

### ～牧小学校5年生稲刈り体験～

10月20日(火)、牧小学校5年生の児童10人が「牧の農業を知ろう」というテーマである総合学習の時間を使い、牧地区の渡邊久義さんの水田で古代米の稲刈りをしました。この古代米は、5月末に同児童たちが田植えをしたものです。稲刈りだけでなく、刈り取った稲を束ねて、木材を組んで作った「はさ」にその稲をかける作業も体験しました。

児童たちは「初めての体験だけど上手くできて良かったです。」「今は機械ですぐできてしまうけど、昔の人は手作業ですごく大変だと思いました。」と、実体験をして感じたことを楽しそうに話してくれました。



▲根元からバッサリと刈り取ります